

日本応用老年学会メールマガジンは、日本応用老年学会会員・関係者にむけて日本応用老年学会事務局が毎月発行しております。

— 目次 —

【1】 ホームページ NEW !

1. 年次総会のお知らせ（一般報告募集のお知らせ）
2. SAG-J 広場のお知らせ（提案募集のお知らせ）

【2】 朝日新聞連載「古い 十五章」 柴田 博

5. 「悪玉」は必ずしも悪ならず

【1】 NEW ! 2010 年5月 ホームページ

- 「第 5 回日本応用老年学会年次総会」
2010 年 11 月 6 日（土）・一般報告募集
※詳細はこちら 学会 HP「年次総会・講演会他」
<http://www.sag-j.org/event/>
- 「研究開発成果実装支援プログラム」
提案募集のお知らせ。社会技術研究開発事業
※詳細はこちら 学会 HP「SAG-J 広場」
<http://www.sag-j.org/community/>
- 「問題解決型サービス科学研究開発プログラム」
提案募集のお知らせ。社会技術研究開発事業
※詳細はこちら 学会 HP「SAG-J 広場」
<http://www.sag-j.org/community/>

会員の皆さまの情報をホームページでご紹介させていただいております。

【2】 「古い 十五章」 朝日新聞掲載

日本応用老年学会理事長 柴田 博

5. 「悪玉」は必ずしも悪ならず(2008 年 1 月 28 日 夕刊)
コレステロールは生活習慣病の元凶のように言われています。高齢者の心身の健康と大いに関係があるのは事実です。でも、「世評」とは異なる面もあるのです。

私たちは関東のある自治体で約400人の高齢者の疫学調査をして日常生活の自立ぶりを調べました。

総コレステロール値は、血清100ミリリットルあたり220ミリグラム(以下、単位同じ)が基準とされています。

男性は、調査開始時に 2 1 3 ~ 2 7 6 の人たちが、

自立の度合いが最も高く、137～189では最も低かったのです。女性だと、209～238が最も高く、次に239～316という結果が出ました。

うつ状態を調べても、総コレステロール値が低い人より、高い人の方が改善ぶりが顕著でした。特に「悪玉」とされるものが大きく影響していました。

コレステロールは細胞膜や血管壁、ホルモンの材料になるなど重要な役割を果たしています。「悪玉」は損傷した血管壁などを修復するのに欠かせません。

「悪玉」が少ないと、こうした活動を満足にできないのです。確かに過剰だとよくないでしょう。でも、ものごとの一面だけをとらえて判断するのも考えものです。

.....

以上

-
- ・ 内容、記事に対するご意見、ご感想、ご要望などは、日本応用老年学会「E-mail : info@sag-j.org 」までご連絡お願いいたします。
 - ・ このメールマガジンは、日本応用老年学会会員・関係者の皆さまに配信しております。配信の停止は「E-mail : info@sag-j.org 」までご連絡お願いいたします。

編集・発行: 日本応用老年学会事務局
(掲載記事の無断転載を禁じます)

日本応用老年学会事務局
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
研究所 自立促進と介護予防研究チーム内
TEL : 03-3471-2370
E-mail: info@sag-j.org
日本応用老年学会ホームページ
<http://www.sag-j.org/>
